

宇部工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	国語Ⅱ A			
科目基礎情報									
科目番号		32001		科目区分	一般 / 必修				
授業形態		講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1				
開設学科		制御情報工学科		対象学年	2				
開設期		前期		週時間数	2				
教科書/教材		「精選現代文B 改訂版」(三省堂)、「精選古典B 改訂版」(三省堂)、「ステップアップ高校漢字問題集」(東京書籍)、「カラー版新国語便覧」(第一学習社)							
担当教員		赤迫 照子							
到達目標									
①読む力：文法事項を理解し、作品を読解できる。常用漢字が読める。 ②書く力：授業の内容をノートにまとめることができる。論理的な文章が書ける。常用漢字の書き取りができる。 ③話す力：適切に音読できる。根拠を明示しながら自分の意見を述べるができる。 ④聞く力：授業のポイントを的確に聞き取り、情報を整理できる。									
ルーブリック									
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		最低限の到達レベルの目安(可)		未到達レベルの目安	
評価項目1		文章の論理を的確に把握し読解できる。常用漢字の読み取り問題が8割以上できる。		文章の論理を把握し読解できる。常用漢字の読み取り問題が7割できる。		文章の論理の把握は不十分であるが、読解できる。常用漢字の読み取り問題が6割できる		作品を読解できない。常用漢字の読み取り問題が6割以下である。	
評価項目2		授業内容をノートにまとめ、適宜見直すことができる。段落同士の関係を意識した、論理的な文章が書ける。常用漢字の書き取り問題が8割以上できる。		授業内容をノートにまとめることができる。論理的な文章が書ける。常用漢字の書き取り問題が7割できる。		授業内容をノートにメモをすることができる。論理的な文章を書くために必要なことが説明できる。常用漢字の書き取り問題が6割できる。		授業内容をノートにメモすることができず、板書も写せない。論理的な文章を書くために必要なことが理解できていない。常用漢字の書き取り問題が6割未満である。	
評価項目3		文のリズムを意識しながら適切に音読できる。根拠を明示し、説明手順を意識しながら自分の意見を述べることができる。		適切に音読できる。根拠を明示しながら自分の意見を述べることができる。		音読ができる。自分の意見を述べるができる。		音読ができない。自分の意見を述べるができない。	
評価項目4		授業のポイントを的確に聞き取って情報を整理し、ノートのまとめ作業に繋げることができる。		授業のポイントを的確に聞き取り、情報を整理できる。		授業のポイントを的確に聞き取ることができる。		授業のポイントを聞き取ることができない。	
学科の到達目標項目との関係									
教育方法等									
概要		第1学期開講。 検定教科書を使用し、現代文・古文を学習する。							
授業の進め方・方法		教科書本文を読解する。内容理解のためにプリントを配付する。							
注意点		①提出物については、厳しく対応する。締切を厳守すること。 ②授業中、プリントを配付する。ファイルを準備し、整理しておくこと。 ③漢字テストは「小テスト」として評価する。							
授業計画									
		週	授業内容			週ごとの到達目標			
前期	1stQ	1週	ガイダンス (評論1) ①			清岡卓行「ミロのヴィーナス」を読み、評論文を読む方法を身につける。			
		2週	(評論1) ②			評論文を読む方法を身につける。			
		3週	(評論1) ③			評論文を読む方法を身につける。			
		4週	(説話) ①			説話を読解し、古典文学の鑑賞方法を身につける。			
		5週	(説話) ②			古典文学の鑑賞方法を身につける。			
		6週	(説話) ③			古典文学の鑑賞方法を身につける。			
		7週	(説話) ④			古典文学の鑑賞方法を身につける。			
		8週	(評論2) ①			岩井克人「未来世代への責任」を読み、評論文を読む方法を身につける。			
	2ndQ	9週	(評論2) ②			評論文を読む方法を身につける。			
		10週	(評論2) ③			評論文を読む方法を身につける。			
		11週	(評論2) ④			評論文を読む方法を身につける。			
		12週	(和歌) ①			和歌を読解し、鑑賞できる。			
		13週	(和歌) ②			和歌を読解し、鑑賞できる。			
		14週	古典文学史			古典文学の基礎知識を習得できる。			
		15週	定期試験						
		16週	試験返却・解説			学習の総まとめをする。			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標									
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。			3		
				論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べるができる。			3		

			文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べることができる。	3	
			常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	3	
			類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	3	
			社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	3	
			課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。	2	
			相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	3	
			新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。	2	

評価割合					
	試験	レポート	小テスト	口頭試問	合計
総合評価割合	70	15	10	5	100
知識の基本的な理解	50	10	10	5	75
思考・推論・創造への適用力	10	5	0	0	15
汎用的技能	10	0	0	0	10